

児童朝会 校長の話 7月3日

今日は果物の話をします。7月になりました。夏の初めですね。今食べ頃の美味しい果物はたくさんあります。調べてみると「さくらんぼ、びわ、もも、すもも、いちじく、プラム、あんず、うめ、スイカ、メロン、ブルーベリー、マンゴー、パパイア、ライチ…」まだまだたくさんありました。今日はその中から幾つか紹介します。

これは何の果物ですか？「メロン」

メロンの中でも網目模様があって、↑の字のつるがついています。これは「マスクメロン」です。1つの苗から1つしか取りません。つるが伸びても1つのメロンだけを育てます。ですから栄養や甘さが一つに凝縮しています。それで



高級なメロンになっています。世界でも日本のマスクメロンは高級品として大人気です。切って食べるとみずみずしくて甘くて美味しいですね。

これは何の果物ですか？「イチジク」よく知っていますね。



イチジクは皮が薄くて実が割れやすく、取った後は傷みやすいです。



ですから早めに食べないといけません。ドライフルーツにしてケーキやパンによく入っていますね。

これは何の果物ですか？「マンゴー」



以前は日本で作ってなくて全て外国の暖かい国から輸入していました。今では人気の



果物なので、日本でも暖かい地方でたくさん作っています。甘くて

香りが強くて栄養がたくさんあります。

さて、果物はそのまま食べても美味しいですが、こんな風にスイーツにすると更に美味しいですね。メロンパフェ、イチジクパフェ、マンゴーパフェです。クリームやアイスクリーム、果物のソースも入って、美味しいですね。これは浅草の人気店「フルーツパーラーゴトー」のフルーツのパフェです。



後藤さんは、ひいおじいさん、おじいさん、お父さん、息子さんと4代続いているフルーツの専門店です。そして浅草小学校の卒業生です。息子さんの祥平さんが、「ようこそ先輩」として、今週の水曜日、1・2年生に果物の話をしに浅草小学校に来てくださいます。



ひいおじいさんが初めに果物屋さんを始めたのは、1946年。東京大空襲があって太平洋戦争が終わった次の年です。その当時食べるものがあまりなくて美味しいものが少なかったとき、果物は贅沢品でした。それでも一口でも美味しいものを食べてもらおうとお店を始めました。そしておじいさんの時代にはコーヒーやスイーツを出すようになり、お父さんの浩一さんは、果物を売るより、果物を使ったスイーツを中心にしたお店にしました。そして今、行列ができる人気店になりました。卒業生が浅草の町で活躍しているのは嬉しいですね。



果物の美味しい季節です。給食でも果物が出ますね。美味しいものを食べて元気に過ごしましょう。